



特定非営利活動法人
ニッポン・アクティブライフ・クラブ
 事務局:大阪府中央区常盤町2-1-8MIRO谷町4階 〒540-0028
 電話06-6941-5448(代表) FAX06-6941-5130
 ホームページ <http://nalc.jp> **毎月1回 10日発行**
 Eメール編集室...kaiho@nalc.jp

紙(上)再録

20周年パネルディスカッション

5月26日、仙台で開催した「ナルク創立20周年記念行事」は、滞りなく終えることができた。前後の25、27日の催しも、宮城、福島拠点をはじめ、関係者の尽力で成功裏に終了することができた。とりわけ、26日電力ホールで行われたパネルディスカッション「被災地で高齢化社会を考へる」は、満員のため入場を制限するという不測の事態も起きたが、「とても有意義であった」と、詳細を知りたいという声も多かった。そのため堀田力顧問の基調講演を含め、それぞれの発言の要旨を紙上再録することとした。

パネラーは、仮設住宅自治会長佐藤修一氏、河北新報社編集委員寺島英弥氏、読売新聞社社会保障部次長猪熊律子氏、日本経済新聞社映像報道部長豊嶋広氏、そしてナルクの高畑敬一会長がコーディネーターを務めた。

基調講演要旨

堀田力氏

(さわやか福祉財団 会長・ナルク顧問)

被災地における「地域包括ケア」は、どのようにして実現できるのだろうか。今度の介護保険法の改正は、介護介助の身体的な面とは別に、「高齢者の幸せの追及」という精神的な面にも重きを置かれている。

最後の看取りは地域で、あるいは自宅という要望が増えてきた昨今、その精神面を支えることが

できるのはボランティア団体であろう。介護保険導入時と変化し、福祉政策は地域の助け合いの力を借りる方向に動いている。例えば①要支援者などの高齢者のための拠点(居場所)②障害者、認知症者や生活困窮者のための地域拠点③子育て支援の拠点などが設けられる。

これらの拠点を中心に地域助け合い活動を全力を挙げて広めていこう。「行政 P O、ボランティア

の縦割り弊害」「介護・医療業者の消極的姿勢」など、地域包括ケアの実現の前には、大きな壁が横たわっているが、地域の声と行動がその壁を打ち壊す原動力になる。

いよいよナルクの出番が来た。

コーディネーター ナルク高畑会長

少子高齢化が進みつつある現在、地域包括ケアを中心に、ナルクをはじめ、N P O、ボランティア

季の輝き



初秋の立山

写真・岩井 淳



真剣な討論が続いたパネルディスカッション

団体は何をすればよいのか。孤独死対策、子育て支援、成年後見、介護保険のインフォームドサービスなど、地域の支え合いの絆を深めていくことが被災地の復興にもつながります。

パネラーの皆様には、ぜひそのことを皆さんに語っていただきたいと思います。

被災地の状況、ニーズの実態、そして日本経済に与える影響、社会保障についての問題提起を願います。

「パネラー」 仮設住宅自治会長 佐藤秀一氏

未曾有の被害と経験したことのない仮設生活に驚きと戸惑いを感じつつ、精神的負担に耐え3年余りが経過した。

生活の術を失い、窮地に追い込まれながらも、必死に生きようとする高齢者の姿に、一筋の涙を誘った。

P T S D の影響もあり、訳もなく泣きみ合う者、突然大声を出して、どなったり、以前の姿とは思えぬ行動に「これが人間の本性か」と、むなしさと寂しさを同時に感じとった。

自信を持って生きてきた過去の栄光に無力感が漂い始める。「どうして俺が」と地面を見つめ無言で問いかけ続けた。

自身を含め、多くの方がトラウマと闘った。集団生活の中でも、ぎこちない行動と作り笑い、心から笑うことのできないシヨックに、現実を直視すれば心を突



1300人を超える会員が会場を埋めつくした

き刺し、立ち上げられなくなる自分に警戒する場面も。人間の弱さを肌で感じた瞬間である。

しかし、全国の温かいご支援に背中を押され、自立という壁を乗り越えようと必死に生きていく姿が美しい。

「パネラー」 河北新報社編集委員 寺島英弥氏

震災後、取材で通っている福島県飯館村の避難先の仮設住宅では、115世帯の住民の4割が独居で、平均年齢は70歳を超える。

入居後は引きこもりが増え、認知症や「はいはい」が顕在化し、その対処と外に出る機会をつくるのが自治会の大きな仕事になった。宮城県では震災後

2年で、要介護者が18.8%増えた(福島と地域再生の視点が復興に不可欠だ。

「パネラー」 日本経済新聞社映像報道部長 豊嶋広氏

私は一年に一回、被災地を訪問している。経済記者にとっ

て大震災以降、復興は大きなテーマで、自らの目でその進捗よく状況を確かめたいからである。実は昨日も、女川町へ行ってきた。

去年の夏、女川港そばで横倒しの鉄筋コンクリート造りの建物3つに相対し「時間が止まっていた」という印象を強く持った。今年は1つに減り、いずれそれも姿を消す。来年にはJRが開通し、駅周辺は盛り土が進んでいた。

「土地は整備されても人は戻ってこない」といった声を地元で聞いたが、復興がようやく動き出しつつある、というのが実感だ。しかし「女川は進んでいる」という指摘もある。

復興事業でネットワークになっている大きな要因は、建設や土木に従事する人の不足である。公共事業予算はピークの半分になり、建設会社で働く人も減つ(次頁へ)



「いにしへの道を聞きても、わが行ひにせむば、かひなし」 (鳥津忠興) 歌の大意は「古くから伝えられている人間の生きる道をどんなに聞いても、人に伝えなければ何にもならない」ということである。鳥津忠興は1492年から1560年まで生きた人だが、薩摩藩主島津家中興の祖といわれ、当時の武士の精神的な柱になる数々の名言を残している。昨年、文部科学省が「生涯学習の見直し審議会」を設置して新しい方針を審議したときにも「せつかく税金を使ってシルバークラスを開き、学んでもらっても、実行に移す人が少ない」と問題になった。5月下旬、ナルク設立20周年記念で全国から集まった1300人の皆さんは被災者と交流し、震災の傷跡を見学して、大きな感動を覚えたはずだ。地元に戻った一層ナルクの活動に励むことを心に誓ったと報告している。そのことを忘れないように、すぐ実践してほしい。ナルクの再発展のために (高畑敬一)

た。例えば、夢真ホールのディングスという上場企業がある。建設事業に携わる人材派遣で急成長しているが、それはゼネコンが社員採用に慎重になっている裏返しと言えよう。2020年の東京オリンピックの後はどうなるのか。経営者は慎重で、「やりくり」は経済のあちらこちらに見えた。

日本経済はいま、長期金利が名目経済成長率を下回る状況だ。「景気が良くなれば金利は上がる」のが自然な姿なので、異例の金融緩和と金利上昇を抑え込んでいるのが今の姿だ。日銀の黒田総裁は「マネーの量を2倍にし、物価を2%上昇させる」という政策を掲げている。日本経済は、公共事業削減の背景には財政の悪化、そして人口減少という構造問題がある。

財政健全化、という日本では財務省の宣伝みたいに、とらえられがちだが、米ではティーパーティーと呼ぶ保守派が「小さな政府」を求め、財政健全化を訴えて勢力を伸ばして

ナルクは長年、共助を掲げ、消費増税についても年金改革などを前提に、受け入れることを表明された記憶している。高齢者の暮らしは確かに厳しいと思うが、国の借金はいまや国民一人当たり800万円。もったいない。真剣に考えるときだ。

が、そこにリスクはないのだろうか。将来、インフレが起きれば、借金は棒引きされる効果があるが、同時に暴力的に国民一人一人の金融資産を奪うことにもなりかねない。やはり

ナルク栃木でパネルディスカッション

6月30日、ナルク栃木の「とちの実会」15周年記念定時総会が開かれました。



栃木拠点のパネルディスカッション

「宇都宮市が現在検討中の介護ボランティア活動のポイント制度や今年から発足した後見人センターの役割など、ナルクの独居会員から「預託点数を利用できて助かった。ナルクに入っていて本当に良かった」との発言もありました。

最後に高畑会長に「最後に高畑会長に」として高畑会長に「地域包括支援センターからは「ナルクがさらに高齢化を、実のある行事としたとき、地域包括ケアシステムなどの

が、そこにリスクはないのだろうか。将来、インフレが起きれば、借金は棒引きされる効果があるが、同時に暴力的に国民一人一人の金融資産を奪うことにもなりかねない。やはり

ナルクは長年、共助を掲げ、消費増税についても年金改革などを前提に、受け入れることを表明された記憶している。高齢者の暮らしは確かに厳しいと思うが、国の借金はいまや国民一人当たり800万円。もったいない。真剣に考えるときだ。

が、そこにリスクはないのだろうか。将来、インフレが起きれば、借金は棒引きされる効果があるが、同時に暴力的に国民一人一人の金融資産を奪うことにもなりかねない。やはり

「宇都宮市が現在検討中の介護ボランティア活動のポイント制度や今年から発足した後見人センターの役割など、ナルクの独居会員から「預託点数を利用できて助かった。ナルクに入っていて本当に良かった」との発言もありました。

最後に高畑会長に「最後に高畑会長に」として高畑会長に「地域包括支援センターからは「ナルクがさらに高齢化を、実のある行事としたとき、地域包括ケアシステムなどの

おらが拠点の熱いひと

巻点の事務局長・橋野喜紀さん



橋野喜紀さんは、故郷の徳島拠点、続いて東北と2拠点の立ち上げにかかわった方。全国でも珍しい存在です。

は、ご本人に言わせると「厚かましく、どこへでも行く」と。徳島ではテレビ局へ売り込み、現・徳島浅野公博代表とともに出演、新聞社へも乗り込み記事にしてみよう。

007年に発表された高畑会長の組織拡大計画、顔の見える活動「3百拠点6万人のナルク」に共感し、翌年故郷の徳島を立ち上げる。高齢化

た東北にも身近な手助けが必要と、熱い思いを周囲に語り、経費の面で成り立つか心配な向きも多くなかっただけ。3年後には、東北拠点を立ち上げました。「どんなことでも、まずは会って聞く。電話では断らない」とが主義。今も事務所の転送電話は、24時間受け付けてくださっています。

「会員の意向をくみ取った代表や運営委員の意見・アイデアを形にすることが事務局長の役割」と語る、企画力・実行力抜群の「熱いひと」です。徳島拠点の浅野代表は7年前を振り返って「拠点立ち上げを提案したとき、本部との

折衝、手続きなど、全部やってくださり、設立してからも、大阪と徳島と掛け持ちで、私たちがリードしてくださりました。現在のナルク徳島に成長した歴史を語る時、橋野さんの存在を抜きにして語ることはできない」と。

体力保持のために始めた金剛山登山が一作秋500回達成！10年後の80歳には、1000回が目標。東北では地域包括ケアに向け、ますます橋野さんの力が必要とされます。私たちも応援していきます。お体に気をつけて頑張ってください！

(記・宇都宮和子)

「ナルク(NALC)」とはNPO法人「ニッポン・アクティブライフ・クラブ」(Nippon Active Life Club)の通称です。

つれづれの記

夢と夢の実現と心の重要さ

リレーエッセイ

今から30年前、勤務していた会社の「社内報」のコラム欄を担当していました。久しぶりに書棚の整理をしていましたところ、「社内報」が見つかりました。将来の一般家庭の「情報社会の夢」を書いたものです。少しくその内容を紹介します。

「1994年4月1日の黎明である。今昇った太陽が木立を縫い、窓辺を包み、春眠からの目覚めを誘う。仮に『K家の朝』としておこすか。やさしい夫、愛する妻、元気な子供たち、そして平穏な朝。平均的な一家の平凡な一日が始まる。

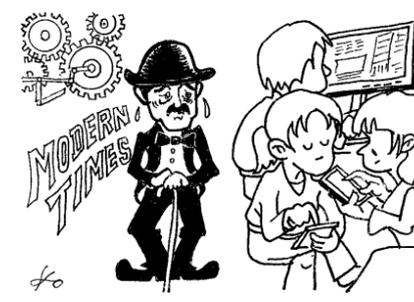
AM7時。家族が起床する前に、エアコンが働いてリビングルームやキッチンはずでに快適温度。朝食もオートシステムでスピーディーにできあがる。ホームファクシミリからは伝送新聞が打ち出されている。K氏は通常なら在宅勤務システムで書斎の机に向かうのだが、今日は週一度の出勤日。逆に子供たちは、学習ルームで学校と結ばれたディスプレイで自宅学習。AM9時。奥様もキャブテン・システムでお買物情報を見て、今日の夕食のメニューをホームショッピング。代金はホームバンクで決済される。

この文章を記したのが1984年4月でした。ちょうど30年前です。現在の情報・通信の発達には想像以上であり、目覚ましいものがあります。当初、夢であったことが実現されています。いやそれ以上に高度になり、文明は発展しています。

これからの10年、20年先の「家庭生活の夢は何か？」と問われれば私は何も答えられません。「人・情」としか言いようがありません。しかし、私たちの「心」「人」とのつながり、いわゆる「情」の世界はますます希薄になっているのではないのでしょうか？

高齢化が進む社会の中で、社会全体がそれぞれの地域や町で、お互い助け合うことが求められるのではないのでしょうか。

(神野)



ナルク用語辞典

=グループホーム=

グループホームとは、小人数が一般の住宅で生活する社会的介護の形態のことである。介護保険で使われているグループホームとは、「認知症対応型共同生活介護」と言われている。認知症の診断を受けた要介護状態の認知症高齢者が、9人を1ユニットとして、食事、入浴、排泄等々の生活全般のサポートを受けながら、家庭的な環境の中でスタッフとともに生活している。

入居者とスタッフが生活を共同で行なうことで、人としての誇りや自信を取り戻すことができ、個室のため、プライバシーが確保できる、一人一人の状態が把握でき易く、入所者のシグナルを密にキャッチできる。反面、運営が密室化する恐れがあり、「介護保険地域密着型サービス外部評価」受審が省令で定められている。

ナルクでは、全国8都道府県に「ナルク福祉調査センター」を設置し、年間600件の外部評価を行っている。詳細はWAMNET(独立行政法人福祉医療機構のホームページ)に掲載されている。

読者の広場

漢詩

山口弘

「岐阜」
夏の甲子園
夏集球児甲子園
打球壘間破欣然
雖不霸者毋悲涼
捲土重來希來年
夏、球児甲子園に集う
打球は壘間を破り欣然たり
覇者ならずと雖も
悲涼する母(なか)れ
捲土重來、來年を希せよ

俳句

「びわこ湖西」
梅雨寒や
病ひの人と落語聴く
なげなく
蟻の巣踏みて修復す
葉山青風
甲斐九重

記者レポート

「和歌山」
救急救命で学んだこと

和歌山拠点では今年1月から、シニア介護サポーター養成講座を開講してきたが、6月19日、和歌山消防協会から講師を迎え、救命救急の講習会を行い、無事終了式を迎えた。この日の講座は極めて有益だったので、皆さまにお伝えしたい。異常者を発見したら、真っ先にすることは、①周囲に応援を求める ②心肺状況を確認する ③呼吸が停止していたら心臓マッサージを行う ④救急車とAEDの手配をすることである。と学

キビナゴの
酢味噌の刺身夏来る
青野あくね
穏やかな
日々を味はふ豆ご飯
青野智翠
洞穴の
弥陀にさみだる瑞巖寺
坂本美智子

川柳

「枚方」
父母の写真に茶を供え
モノクロの
時代遅れと
言われようと
揺るがない
たすく
縄文の
元気がほしい芸術家
いくら
予報より
天気当てる古いキズ
りょう

随想

「健康と判定される人が増える?」という記事を読んで
「びわこ南東」清水修一
下の表は、日本人間ドック学会などが示した「新たな正常値」という引用です。
従来は「男女年齢に係なく130以下、下は85以下が正常値」といわれていました。私も現在、若干高めなので医者への薦めもあり、血圧を

Table with 3 columns: 男性, 女性, 現在の基準. Rows include 収縮期血圧, 拡張期血圧, BMI, 中性脂肪, γ-GTP, LDLコレステロール.

下げる薬を飲んでおりま
す。
今回発表された数字が
に近い人が、血圧を下げる薬を飲まなくても良くなるそうです。私もやめました。
「薬を飲ませたい病院と製薬会社」「医療費と薬剤費を減らしたい役人」とのせめぎ合いです。いま私が行っている病院はベッド数1000ぐらいの中規模の病院ですが、薬剤業者が、ピツクリするくらい大勢来ています。こんなに製薬会社があつて、よくつづれないものだと思
います。
日本人は世界でも有数の薬好き。「病院へ行ったら、薬をもらわなくては気が済まない」という国民性も悪いのでは。それと大事なことは、薬にはたいい副作用がありま
す。また薬は病気を治すだけでなく「病気の症状を抑えるだけ」ということが多
いようです。
ある70歳の男性の話。
「27種類の薬を飲んでい
た。3つの病院にかかり、それぞれ薬をもらって
いたからだ。さすがにこ
れはいけない」と、ある
ドクターが絞ったら、6
種類の薬で済んだそう
です。
それと大事なことは、
行った病院の近くの薬局で薬をもらいがちです。
今年で6回目を迎えること
となつた。
「子供ゆめ基金」の獲得が
できなかったこと
で、再会が危ぶまれて
いたが「兵庫県青少年本
部」「阪神タイガース」
など
官民5団体の協賛が得
られ「里山・自然体験キ
ャンプ」として開催にこ
ぎ
着けることができた。
7月25日から8月24
日の間に4回開催し、延べ
120人の子供たちが1泊2
日で、丹波の自然を満
喫した。里山冒険遊び、
(岡田 誠)



東郷さんが立つ三笠公園浅橋で

「横浜」
無人島「猿島」ウォーク
5月16日、京急の横須賀中央駅に21人が集合、横須賀市内の無人島「猿島」を目指しました。
駅から15分ほど歩くと三笠公園浅橋です。軍艦「三笠」と東郷平八郎銅像の出迎えを受け、浅橋から船で15分ほど行くと猿島です。
ある時期、島は軍の要塞として一般人の立ち入り制限されてい
ました。緑が多く、驚の声に都会では味わえない安らぎを感じました。面積は
約1.5ヘクタール、木々の緑と海からの心地よい潮風を感じ
る、ほどよいウォーキングの一日でした。
(須藤直枝)

「姫路」
地域包括支援センターとの対話学習
6月18日に定期総会を行いました。2部では2つの地域包括支援セン
ターから職員の方にご参
加いただき「ボランティア
団体と地域包括支援セ
ンター」のご紹介、で
きないこと」と題するお
話しをお聞きしました。
大変有益な会で、今後
も情報の共有化、問題の
抽出、取り組み方法の相
互理解を深めていこうと
思います。(井上周三)

「高槻・島本」
北摂6拠点合同花見会は開催中止と決定
6月4日、吹田拠点の担当で北摂6拠点情報交換会が開かれた。
席上、長年続けてきた「北摂6拠点合同花見会」の来年以降の開催を見合
わせる決定がなされた。
理由は一応、当初の目的を達したと、2年連

「丹波」
里山・自然体験キャンプ
今年も活動再開
丹波拠点のシンボルともなつた「丹波こちやま自然体験キャンプ」は満喫した。里山冒険遊び、

Table with 2 columns: 地域, 活動拠点数. Rows include 北海道地区, 東北地区, 関東地区, etc.

「中標津」
農園同好会 今年も多忙
今年も農園同好会は大忙しです。畑おこし、畝づくり、たい肥入れ、種まき、苗植え、草取りなど次々と仕事に追われて
います。会員から寄贈された農機具も大活躍、秋の収穫が楽しみです。
(岡田 誠)

「丹波」
今年も活動再開
丹波拠点のシンボルともなつた「丹波こちやま自然体験キャンプ」は満喫した。里山冒険遊び、

「中標津」
農園同好会 今年も多忙
今年も農園同好会は大忙しです。畑おこし、畝づくり、たい肥入れ、種まき、苗植え、草取りなど次々と仕事に追われて
います。会員から寄贈された農機具も大活躍、秋の収穫が楽しみです。
(岡田 誠)

「中標津」
農園同好会 今年も多忙
今年も農園同好会は大忙しです。畑おこし、畝づくり、たい肥入れ、種まき、苗植え、草取りなど次々と仕事に追われて
います。会員から寄贈された農機具も大活躍、秋の収穫が楽しみです。
(岡田 誠)

「中標津」
農園同好会 今年も多忙
今年も農園同好会は大忙しです。畑おこし、畝づくり、たい肥入れ、種まき、苗植え、草取りなど次々と仕事に追われて
います。会員から寄贈された農機具も大活躍、秋の収穫が楽しみです。
(岡田 誠)

団体賛助会員
(5口以上・敬称略)

- あいおいニッセイ同和損害保険・大阪ガス労働組合・亀岡病院・関西電力労働組合・近畿労働金庫・公益社・サンヨー電機労働組合・CGCグループ・全電通近畿社会福祉事業団・全東レ労働組合連合会・東北電力労働組合・東北発電工業・日新製鋼労働組合・パナソニック・パナソニックグループ労働組合連合会・パナソニックエコソリューションズ労働組合・丸十服装・妙見閣寺・ユアテックユニオン・U1ゼンセン同盟・信和ゴルフメンテナンス・労働者福祉中央協議会・四国電力生活協同組合・日通旅行・亀岡松花苑(みずの木)・ライフ薬局・(株)明倫社・新和企業(株)大阪支店・ダイハツ労働組合